

県立世界遺産センター開設 5 周年シンポジウム 「日本生糸の世界生糸市場への参入はなぜ成功したのか」

県立世界遺産センターは、令和 2 年 6 月の開設から本年で 5 周年を迎えました。これを記念し、幕末の開港以降、日本の生糸がどのように世界に受け入れられていったのかをテーマに、外部講師を招いてシンポジウムを開催いたします。

1. 日時・場所

開催日時：令和 7 年 12 月 13 日（土） 13 時 00 分～16 時 30 分（受付開始：12 時 30 分）
会 場：富岡製糸場西置繭所（富岡市富岡 1-1）

2. 定員・費用

先着 100 名（事前申込制）・無料 ※富岡製糸場も無料で見学できます。

3. プログラム

講演 1 「群馬の生糸が国際市場へ」 西川武臣 氏 （横浜開港資料館館長）
講演 2 「生糸直輸出の試みとその意義」 佐藤 有 （県立世界遺産センター研究員）
シンポジウム コーディネーター 石井寛治 氏 （東京大学名誉教授）
登壇者 西川武臣 氏 （横浜開港資料館館長）
佐藤 有 （県立世界遺産センター研究員）

4. 主催

県立世界遺産センター、富岡市

5. 申込方法

①、②いずれかの方法で、12 月 10 日（水）までにお申し込みください。

① お申込みフォーム

<https://logoform.jp/f/9IEzk>



（お申込フォーム二次元コード）

② E メール

氏名、電話番号、参加人数を明記して下記のアドレスへお申込みください。

sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

※ 詳細はチラシをご覧ください。

※ 定員に達し次第、受け付けを終了させていただきます。